



奇跡のトウミギ、もしくは「自然」への愚痴

きょうのセットに入るトウモロコシは、「奇跡の果実」ともいうべき苦労の産物のようです。生産者のぼやきにおつきあいください。

右上は、鈴木サトさんが書き殴ったメモです。「どうしてもトウミギに添えて届けたい」と、次の5点が箇条書きされています。

1. 三度の種まき
2. 草取り
3. 雄花の害虫駆除
4. 台風で倒伏
5. 雀害と獣害

一つずつ解説してみます。

(1) 4月、気温が低かったのか種が悪かったのか、芽が出ませんでした。2回に分けて作ろうと残しておいた種を追いまきしたけど、やはり発芽しませんでした。新しく種を買ってきて、3回目ようやく芽が出たそうです。

(2) いっさい化学肥料や農薬を使わず、もちろん除草剤も散布しませんから、春からずっと雑草とのたたかいがつづきます。

(3) 殺虫剤を使っていないトウ

モロコシは、市場には皆無だと思えます。サトさんは徒手空拳。雄花につく蛾の幼虫など害虫を手でつまんで取り除いています。

(4) ようやく生育してきたところを季節はずれ?の台風4号に襲われ、写真のとおり樹がなぎ倒されてしまいました。

(5) なんとか実をつけ大きくなってきましたが、それを今度はスズメがつつきまくります。さらに下の写真のように、実をガブリとやられる獣害もありました。樹に着いたままで実をかじられる被害は初めてで、犯人は特定できていません。



おすすめの映画です。水戸駅南口すぐの「シネプレックス水戸」で8月11日から公開されます。映画の中では、被爆したお地蔵様が物語のポイントともなっている(らしい)。じつは美術協力で、お地蔵様を製作したのが北茨城市の石材店さん。訪ねて、若い意欲的な社長さんにお話をうかがうことができました。別の機会に報告します。